



三気の門

PORTAL SANKI

NO.43 最終号

2026.3.24

文責：佐藤正一

令和7年度終了・令和8年度の展望

かがや ほ みちゆう つ すす
～輝く保見中サクセスロードを突き進むために～

3月24日の修了式をもって、令和7年度の保見中学校のすべての教育活動が終わります。そして4月9日には新しい1年生を迎えて令和8年度が始まります。令和7年度は学力を高め、「夢をかなえる学校」というテーマをもって、教育活動をしてきました。

がくりよく がくしゅうしんだん てん もくひょう じゅぎょう しゅくだいかいかくとう すす
学力では学習診断テスト+2点を目標に授業や宿題改革等を進めてきました。3年生で0.8点と2点には届きませんでしたが、目標1年目としては上々の出来だったと思います。保見中学校はもはや外国人が多い、学力困難校ではなくなりました。+2点が達成されたら市内でも有数の学力が高い中学校になれる。

がっこうひょうか いちぶ ほごしゃ れんけい ひつよう いけん
学校評価で一部の保護者から「連携は必要ない」という意見もありましたが、これは愛知県の方針なので、「やめる」という選択はできません。今年度、衣台高校との連携入試で12名が入学しました。連携は保見中にとっては、全生徒が恩恵を受ける制度です。衣台高校は今後、多文化共生教育でトヨタ自動車や三井物産といった超一流企業とタイアップする教育や有名大学との協定で推薦の枠も増える可能性もあり、優先的に入学できる枠をもっている保見中学校のブランドは高くなると思います。

また、「多文化共生」を学んだ中学生ということで、他の高校へ推薦入試の合格者も増えており、「中高連携校」という愛知県でも有数の中学校という非常に恵まれた環境に保見中学校は置かれています。他の中学校から見れば、「なんで保見中だけ？」と言われるほどプレミアな権利だと私は思っています。また、キャリアアップ部のサポートによる英語検定の資格保持者も爆発的に増えており、目標100人（全生徒のおよそ30%）を超える合格者を出すのも令和8年度で目指す目標です。

令和8年度はさらに飛躍を目指して、教職員一同、保護者、地域の皆様と力を合わせて、子供たちを育てていく所存です。来年度もよろしく願います。

